

2015年3月期 第3四半期(累計) 【連結】決算ハイライト

(単位:百万円)

第3四半期(累計)業績	2014/3期 第3四半期		2015/3期 第3四半期		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	55,910	100.0%	61,714	100.0%	5,803	10.4%
営業利益	5,886	10.5%	6,122	9.9%	235	4.0%
営業外収益	1,158	2.1%	974	1.6%	△183	△15.9%
うち為替差益	359	0.6%	67	0.1%	△291	△81.2%
営業外費用	678	1.2%	490	0.8%	△188	△27.7%
うち支払利息	364	0.7%	221	0.4%	△142	△39.2%
経常利益	6,366	11.4%	6,606	10.7%	239	3.8%
特別利益	876	1.6%	-	-	△876	-
特別損失	17	0.0%	-	-	△17	-
税金等調整前四半期純利益	7,225	12.9%	6,606	10.7%	△618	△8.6%
法人税等	1,526	2.7%	1,972	3.2%	445	29.2%
法人税等調整額	910	1.6%	334	0.5%	△575	△63.2%
少数株主利益	886	1.6%	766	1.2%	△119	△13.5%
四半期純利益	3,902	7.0%	3,532	5.7%	△369	△9.5%
為替レート(1USD/円)	97.75		109.45			
為替レート(1ユーロ/円)	131.87		138.87			

<第3四半期(累計) 決算概要 (前年同四半期比)>

売上高	+58.0億円 (+10.4%)
営業利益	+2.3億円 (+4.0%)
経常利益	+2.3億円 (+3.8%)
四半期純利益	△3.6億円 (△9.5%)

【売上高】

海外は、自動車関連では世界最大市場の中国や販売好調な米国、回復基調の欧州においても売上が伸長。一般建設機械も北米での住宅着工等の好調な需要を受け堅調に推移したことなどから、全ての地域で増収となった。

国内は、消費税率引き上げ後の自動車販売への影響が長引いたものの、自動車用軸受は堅調に推移。船用は円安効果等により受注が回復に向かい、一般建設機械も堅調に推移。

【利益】

自動車関連の増収効果や船用及び建設機械関連の回復により、営業利益は増益。経常利益は前年同四半期比で為替差益が2億91百万円減少したものの支払利息が1億42百万円減少したこと等により増益となった。

四半期純利益は、前年同四半期では固定資産売却益等(旧東京工場跡地売却など8億75百万円)の特別利益を計上したこともあり減益となった。

2015/3期(通期)業績予想の修正	2015/3期 今回修正後 予想①	前回予想との比較 ①-②		前期実績との比較 ①-③			
		2015/3期 前回予想②	増減額	増減率	2014/3期 通期実績③	増減額	増減率
売上高	85,000	80,000	5,000	6.3%	77,350	7,649	9.9%
営業利益	7,800	7,800	0	0.0%	7,368	431	5.9%
営業利益率	9.2%	9.8%	-0.6P	-	9.5%	-0.3P	-
経常利益	8,500	8,100	400	4.9%	8,063	436	5.4%
経常利益率	10.0%	10.1%	-0.1P	-	10.4%	-0.4P	-
当期純利益	4,600	4,800	△200	△4.2%	4,735	△135	△2.9%
当期純利益率	5.4%	6.0%	-0.6P	-	6.1%	-0.7P	-
為替レート(USD/円)	*120.55円	想定103.00円			105.39円		
為替レート(ユーロ)	*146.54円	想定138.00円			145.05円		

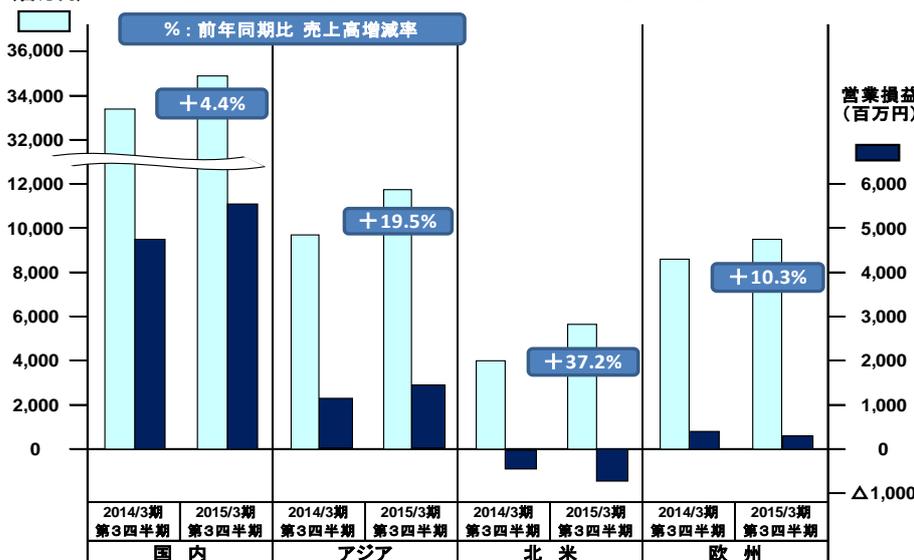
*2014年12月末実績(TTM)レート

②前回予想 = 2014年5月14日付公表の通期連結業績予想値

セグメント情報 (事業別)	外部顧客への売上高					
	2014/3期 第3四半期	構成比	2015/3期 第3四半期	構成比	前年同期比 増減額	同 増減率
自動車用エンジン軸受	35,922	64.2%	40,125	65.0%	4,203	11.7%
自動車用エンジン以外軸受	11,046	19.8%	11,939	19.4%	893	8.1%
非自動車用軸受(*)	8,477	15.2%	9,038	14.6%	560	6.6%
その他(*)	464	0.8%	610	1.0%	146	31.5%
合計	55,910	100.0%	61,714	100.0%	5,803	10.4%

*2013年7月1日付の組織変更により、従来「非自動車用軸受」に含めておりました金属系無鉛潤滑軸受事業を「その他」に変更しております。

売上高(百万円) 所在地別 売上高・営業損益(セグメント間消去前) 推移



主要財務指標	2012/3末	2013/3末	2014/3末	2014/12末	2014/3末比
売上高営業利益率	13.5%	8.9%	9.5%	9.9%	+0.4P
自己資本当期純利益率(ROE)*	20.7%	14.2%	13.1%	11.7%	△1.4P
自己資本比率	32.2%	36.3%	37.3%	37.5%	+0.2P
純有利子負債(有利子負債-現金)	16,977	17,159	15,844	17,034	+1,190

*ROEは、四半期純利益を年換算し算出しております。

設備投資・減価償却	2011/3期 通期	2012/3期 通期	2013/3期 通期	2014/3期 通期	2014/3期 第3四半期 (累計)	2015/3期 第3四半期 (累計)
設備投資	2,763	5,596	10,040	10,838	6,401	6,419
減価償却費	4,763	4,566	4,838	5,027	3,630	4,135

<<2015/3期(通期)連結業績予想の修正>>

最近の業績動向や為替による影響等を踏まえ、左記のとおり、2014年5月14日に公表した2015年3月期通期連結業績予想を修正いたしました。

・前期実績(2014/3期)と比較した場合の増減率は、売上高+9.9%、営業利益+5.9%、経常利益+5.4%、当期純利益△2.9%となります。

<<所在地別(前年同四半期比)>>

◇国内

自動車関連の売上は消費税率引き上げ後の影響が長引いたものの堅調に推移し、大型船舶向け低速ディーゼルエンジン用軸受の受注が回復に向かったことなどから前年実績を上回った。

・営業損益は、堅調であった自動車関連に加え船用の受注回復等の増収効果により増益となった。

◇海外(12月決算につき1~9月の累計)

【アジア】

中国、韓国で売上が伸長。タイも政情不安からの緩やかな景気回復を背景に堅調に推移。営業損益は中国、韓国が牽引し増益となった

【北米】

自動車関連及び一般建設機械ともに売上は堅調。営業損益のマイナスは、メキシコ新工場にかかる先行費用の計上等によるもの。

【欧州】

自動車関連では、域内の需要回復基調や新規顧客向け納入開始等により、売上は堅調に推移。一方、船用(中小型船舶向け)が依然低調で推移したことなどから営業損益は減益となった。

(注)業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。